

平成 30 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 30 年 7 月 5 日（木）

開式：午後 7 時 00 分 閉式：午後 7 時 45 分

場所：北大社構造改善センター

参加者：男 28 人、女 3 人、計 31 人

町職員：町長、副町長、総務部長、建設部長、建設部参事、政策課長、政策課員

- ・開会 19：00
- ・町長報告 19：00～19：30
- ・懇談会 19：30～19：45
- ・閉会 19：45

○東員駅前開発についての報告（町長）

○懇談

男性 1 以前の地権者説明会でお話しは大体把握はしていますが、駅前開発は一瞬でなくなってしまう。町のある部がやったことならそれでいいかもしれないが、町長自ら旗を振ってやって、「さあ、やろう」というときに辞めましたでは、信頼がなくなります。他の会に参加したときに、その会の意見のなかで、「どうせまた何かをやっても、勝手にやめるんでしょ。」という意見が出ました。駅前開発だけではなくて、他の事業でもそういう疑念をもたれるような状況になっている。また、役場の職員も、確信のない答えに関しては「努力します」や「検討します」というだけで、簡単なものでも慎重になりすぎてしまっている。この信頼を取り戻すのはかなり難しい。他への影響が大きい。

副町長 おっしゃられたとおり、役場全体が萎縮してしまうということは十分考えられます。この信頼を取り戻すのは大変難しいが、お互いに協力していきたい。

町長 我々としても、信頼回復のために努力をしていかなければならないと思っています。この開発については、町全体の構想のなかで、非常に重要な位置付けをしていました。我々の思っていた構想をひとつひとつ紐解いて、再度やらなければならぬと思っています。まずは学校の問題。それから、若い人の移住場所の確保。東員町は若い人の移住が非常に多くなってきている。あるいは高齢者の問題。特にネオポリス地区の問題で人の循環をどうするか。さらに農業を核とした産業振興。産

業振興では農業を広めるだけではなく、加工して販売する独自産業化も目指す。そのための拠点がなくなったため、一から組み立てなおさなければならないと思っています。それよりも前に町民の皆さんの信頼回復を最優先でやります。

男性 1 地権者約 60 人は、この開発の話を受けて、各世帯が家族会議をしたり、登記の話をしたりと相当期待があったと思います。その世帯に信頼回復するために言葉じゃなくて、行動で示してほしいと思います。

副町長 よりよい東員町を作っていくために、町長中心に一丸となって頑張っていくます。よろしくお願いします。

男性 1 新産業プロジェクトについてはどういった手法でやられているのか。数十年民間に勤めていましたが、大きなプロジェクトにはコミットメントがあります。工程や管理方法についてコミットメントして責任を負います。そこが薄いのでは、公的機関と民間ではだいぶ違うのではと思いました。やるだけやってダメでしたがとおってしまう。30日、60日、90日と達成を決めて、オーナーに説明し納得してもらおうという道筋があります。その辺が野放しみたいな感じがしました。

町長 それに対しては、今年は具体的な動きがあります。四日市の企業と町内農業者 2 者で手を取り、大豆を作ります。大豆の種類は全国でほぼ 1 種類のため、新しい品種で大豆を作ります。その中でおからの出ない豆腐などへ加工できるものを作ります。東員町にしかない独自産業化を目指し、加工・販売するためのプロセスを細かく設定しています。